学校番号	305

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共（ステップアップ）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂版　高等学校　公共　これからの社会について考える　（数研出版社）						
副教材等	最新公共資料集　（第一学習社） 改定版　高等学校　公共　整理ノート　（数研出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公共はいわゆる「暗記科目」ではありません。何の文脈もなく知識を断片的に覚えるのではなく、社会のしくみやあり方について論理的に説明する力を身につけてもらいます。その際に大切になるのは「なぜ？」という視点を持つことです。どの事象でも因果関係や他事象との関連性があります。授業中は受け身の姿勢ではなく、自ら「なぜ？」と追究し続ける積極的な姿勢を求めます。

公共の授業を通じて、現代社会に目を向け、考え抜き、表現する力を磨いていきましょう。

2　学習の到達目標

① 現代社会に見受けられる諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

② 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

③ よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共的な空間をつくる私たち・公共的な空間における人減として在り方生き方	・青年期と自己形成 ・人間としての自覚 ・日本人としての自覚 ・西洋近現代の思想 ・現代の諸課題と倫理	a: 自分自身が、主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b: 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している c: 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・確認テスト	・定期考査 ・資料読解課題	・課題レポート ・授業ワークシート
2学期 3学期	・公共的な空間における基本原理・現代の民主政治と政治参加の意義 ・現代の経済活動と経済活動のありかた	・民主社会の基本原理 ・日本社会の基本原理 ・日本の政治機構 ・政治参加と民主政治の課題 ・経済のしくみと市場機構 ・財政と金融 ・日本経済の発展と変化 ・豊かな社会と福祉の実現	a: 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。また、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 b: 中学校までに学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。また、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 現代社会の構造やあり方について自分なりの考えや見方を持とうと努めている。	・定期考査 ・確認テスト	・定期考査 ・レポート課題 ・ディスカッション ・模擬裁判 ・模擬選挙	・授業ワークシート ・模擬裁判や模擬選挙への参加

3学期	国際社会の動向と日本の役割	・国際政治の動向 ・国際政治の課題と日本の役割 ・国際経済の動向と国際協力	a: 現代社会で見受けられる諸課題の基本知識を理解している。 b: 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。また、これまでの学習を関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 現代の諸課題を主体的に解決しようとして、身近なところから実践できることを見つけようとしている。	・定期考査 ・確認テスト	・定期考査 ・ディスカッション ・資料読解課題	・ディスカッション ・授業ワークシート ・発表スライド

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度